

神様が教えてくれた

魔法の法則

岸本 元気

GENKI KISHIMOTO

夢を叶える

50の方法

神様から あなたへのメッセージです。

神様から あなたへのメッセージです。

はじめまして。

言葉がけコンサルタント 岸本元気です。

ブログ「楽しむ能力を育てる魔法の言葉」<http://ameblo.jp/kotobagake/> の中で

神様は たくさんのメッセージを 僕に託しました。

その中から ぜひ 「あなた」に届けて欲しいと 伝えられた 50の法則をお届けいたします。

これは 他でもない 神様から あなたへのメッセージなのです。

(げんき)

【1】 神様との交際費も『経費』に入れておきましょう。

神様との交際費も『経費』に入れておきましょう。

『経費』といっても 会社の経費ではなく 『人生の経費』です。

「神様との交際費」

そう聞くとお賽銭や初穂料のように 寄付すること
ほとんどの方は きっと そう感じるかもしれません。

「神様との交際費」は もっと身近で よくあることです。

「神様との交際費」

それは 「失敗」です
もっと厳密に言えば 「失敗して損したお金」なのです。

「店員さんから勧められて買ったのに、結局使わなかったもの」
「習い始めたけど 続かなかったレッスン費」
「お酒の席での失敗」
「人に貸したけど 返ってこなかったお金」
あげれば 沢山あります。

誰でも一度は 経験しているはずですよ。

この失敗して損をしたお金

一見、無駄なお金に見えますが、 実は大事な『神様との交際費』なのです。

神様は、人と交際する時 いったん損をさせます。
損をさせるのは いじわるや あなたが嫌いだからでは ありません。
あなたに「福を届けるスペース」を空けているのです。

あなたが損をした その空白の部分に 詰め込めるだけの『福』をすでに用意しています。

人は 損をしてしまうと 次に損しないように 警戒したり、妙に気をつけて 力んでしまいがちです。

「もう 損しないぞ！」とまるで抱え込んで取られないように・・・

そうすると せっかく 空けて頂いた「スペース」に『福』が入りません。

神様は 仕方なく その『福』を持ち帰ってしまいます。

損をしたら その時は 『福』を受け取る準備をしておきましょう。

神様は『交際費』以上の『福』を間違いなく 準備しています。

にこにこして 待っていきましょう。 （げんき）

【2】 ぜんぶ まとめて ぼくらは かみさま なのです。

おやゆび と こゆび が けんかすることは ありません

「きみ ずいぶん ちいさいやつだなあ」
「きみだって なんだか ふとくてへんだよね」って

まつげ と めだま は けんかすることは ありません

「きみ ぼくのまえて ばたばたするなよな」
「おまえだって ぎょろ ぎょろと じゃまくさいんだよ」って

あたま と あし だって けんか することは ありません

「いつも つかれるのは ぼくたちなんだよね きみ おもたいよ」
「うるさいんだよ ぼくが考えているから きみらが うごけるんだよ」って

違いは あります

目とまつげも 足と頭にも
でも あくまでも それは 僕の一部です

どっちがいいとか 悪いとか そんなものは 関係ありません
すべて まとめて 僕自身だからです

こどもたちも けんかをします
こどもたちも 違いを指して いじめあいます

大人たちも けんかをします
他人の違いや差を うらんだり ねたんだり

神様は きっと こういいます

きみらは ぜんぶ わしの いちぶなのに

違いは あって 当然
あって いいのです

ぜんぶ どこかで つながっています

ぜんぶ まとめて ぼくらは かみさま なのだから (げんき)

【3】お風呂の中には、ばい菌どころか「神様」がたくさんいるのです。

お風呂には たくさんの意味があります。

もし、日常生活の中で 「神様に一番近い場所」があったとしたら
それは 「お風呂」なのかもしれません。

「お風呂」は お母さんの胎内にいた頃と同じです。

それに、「あかを落とす」「足を洗う」など 「お風呂」に関係ある様々な言葉
も たくさんありますね。

疲れをとるのも そうですし、リラックスするのも この場所です。

まさに「お風呂」は 「再生」と「誕生」の場所です。

もうひとつ お風呂には大事なものがあります。

それは 「水」です。

お風呂に入ったら 「お風呂の水」に 少しだけ話しかけてあげましょう。

小さな子どもたちは お風呂で遊ぶときに 時々 水に話しかけます。

水には ちゃんと「意識」があります。

そして ちゃんと「人」に応えてくれるものなのです。

再生させて 誕生させて そして癒してくれるもの。

それは 他でもない 「水」だからです。

お風呂の水に 「ありがとうございます」

そう言って 感謝しながら 水のちからを頂くことが大切です。

もし 皮膚が少し弱かったりしたら

ぜひ 水に相談してみてください。

「水の相談」ではなく

「水に相談」するのです。

僕も「水の神様」に頼っておきますので。（げんき）

【4】 ご先祖様の最大の仕事・・・それは「神様へのレポート」提出なのです。

ご先祖さまは 神様に一番近い場所にいます

お盆になると ご先祖さまが お家に帰ってきますが、
帰ってきたご先祖さまに ゆっくりとくつろいでもらいましたか？

ご先祖さまは 帰ってきても なにもしゃべることはありません。
それに 姿も見えません。

でも ちゃんと 家に帰ってきているのです。

ご先祖さまが いちばん喜ぶもの。
それは、がんばってる姿をみせてあげることです。

家に帰ってきた ご先祖さまの最大の仕事。
それは「神様へのレポートの提出」なのです。

神様は、この世界でがんばっている すべての人の姿を見えています。

そして なんでも知っています。

天にいる神様に そのことをご先祖さまは、きっと伝えているんですね。

それを確認しに行く機会 それが お盆です。

お盆に帰省して ふるさとの父母に 元気な姿を見せてあげること。

まさに 同じことです。

元気でがんばっていること。

これが なによりも ご先祖さまに とっては嬉しいことなのです。

お盆が終わり、ご先祖さまが神様へ書く「あなたのレポート」こそ
これからの人生の脚本に 大きな影響を与えるのかもしれない。(げんき)

【5】 お守りを持つのではなく お守りになるのです。

こどもたちの無事を祈る お守り
交通安全のお守り
学業祈願のお守り

たくさんのお守りがあります。
そこには 神様への願いと 送った人の祈りが込められています。

「お守り」
実は 持つものではなく なるもの なのです。

そう お守りになるのです。
お守りは 持った瞬間に
その人自身を お守りにしてしまいます。

学業祈願のお守りも交通安全のお守りも持っているから ご利益があるのではなく
持った瞬間に すでに その人自身がお守りになっているからなのです。

こどもたちに 安全のお守りになってもらいましょう。

一緒に帰る お友達
その子の安全のお守りは あなたのこどもたち です。
あなたのこどもたちのお守り
それは あなたのこどもたちの友達なのです。

目には見えませんが、お守りは この世界にたくさん存在しています。
こどもたちに お守りになれることを教えてあげましょう。

お守りになる方法
それは 「気にかけてあげること」です。

たとえ 帰り道に一緒になれなくても
「気をつけてかえってね」
「危ないときには 走ってにげようね」
「公文に行くとき 車に気をつけてね」
そうやって 気にかけてあげる 一言です。

これが こども同士を「お守り」にする魔法です。

誰でも 人は お守りになることが できます。
僕らの正体は お守りだからです。

なぜって？
僕たちは この世界を離れて 神様のもとに帰ったときに
お仏壇の中の 戒名という名の 「おふだ」になります。
そう 「おふだ」こそ 「お守り」です。

そして この世界を共に過ごした たくさんの仲間や家族を天から守る
そんな存在になれるからです。 (げんき)

【6】神様は 実は 地面の中にいるのです。

何かお願いごとをしたり 祈る時には 天を仰ぎます。
神様は、天にいるもの。そう 空の上の存在。
誰もが そう信じているはずです。

実は 神様は 地面の中にいるものです。

もっとわかりやすく言えば 神様の上に乗っているようなものです。

まさに 手のひらの上にいる。そんな感じです。

天動説の時代は、 地面が中心でした。 地球の周りをすべての星が回ってる。
でも 地動説になると 天が中心になります。
地球が 太陽の周りを回っているという 考え方だからです。

昔は、地面を中心に そう地面にも 神様がいたのです。
地面の中にいる 神様に気づいてあげましょう。

くつを履くのは あなたの足が痛いからでは ありません。
神様を 直接踏みつけないように です。

くつを履くのは 地面で足が痛くなったり 怪我をしないように。
確かに その通りです。
でも もうひとつ 忘れてはならないこと。
それは、地面の神様を 直接踏みつけないように なのです。

もちろん、地面の神様は 踏まれたところで 痛くはないのかもしれませんが。

でも 自分の上に人がいる ことは 知っています。

人は 地面という存在を 少しだけ忘れてしまっています。

本来 「地」というものは 私たちを支えている存在です。

地が作物を育て 恵みを作り出し、 そして生き物は地に還る。

それが 「地」 です。

地面の神様にも 時には感謝してみましょう。 (げんき)

【7】 「幸運」は、伝染病です。

「幸運」は、伝染病です（笑）

うつるんです。間違いなく・・・。

そんなのなら 私もうつりたい・・・誰もが思うはずです。

伝染病にうつるためには

- ① まず、ちかづくことです。
- ② そして できるかぎり相手の呼吸や気を吸い込みます。
触ったりするのもいいかもしれません。
- ③ そして その人の症状と近い症状が現れると いいのです。

まず、幸運な人に会い、できるかぎり近づき そしてまねること。

これが「幸運」の伝染病にうつるコツです。

「不運」も伝染病なのですが

不運の場合は、「かわいそうに・・・」と同情します。

だから まねることはしません。

だから うつることも ないのです。

仮に「幸運」の伝染病にうつりそうになった時にも

あなたのところに

「うらやましい」「なんでこの人ばかり・・・」という感情が浮かんでくると
この伝染病には うつらないのです。

最高にうつるためには

その人よりも「症状がひどくなる」ことです。

その人の喜びを その人以上に 喜んであげることです。

そうすれば あなたは 確実に うつされてしまうのです。（げんき）

【8】神様が出かけるようなので 靴を揃えてあげてください。

くつは、そろえてあげましょう。

住宅展示場の中の素敵な、そして立派な家に入ってみると 気が付くことがあります。

なんだか気配が感じず、「モデル」そう「模型」という感じです。

これは、家の中に住む「家の神様」がいないからです。

みなさんの家には 間違いなく「家の神様」がいます。

「家の神様」を大切にしましょう。

「家の神様」は、いつも みんなを守ってくれます。
そして天井から いつも こどもたちの姿を見てくれます。

ただ、「家の神様」も外出するのです。

それは、家へ「福」を運んでくるために 時には 外にでかけます。

外出の際には、もちろん誰かのくつをはいて出かけるのです。

くつは、そろえてあげましょう。

家の神様は、結構 几帳面です。
綺麗に揃えた くつをはきたがるようです。
神様にはかれた くつの持ち主は、「福」がもたらされます。

こどもたちに くつをそろえる理由を教えてあげましょう。

果たして今日は、誰のくつをはいて出かけるでしょうか？

くつをそろえるのは 実は 「神様」のためなのです。

「福」は、入ってくるものでは ありません。
神様が取りにいつてくるものなのです。 (げんぎ)

【9】 「おかわりしたくなる人」 あなたは まさにそんな人です。

おかわりしたくなる人

男でも女でも こどもでも大人でも
おかわりしたくなる人は いるものです。

もっと会いたい。
もっと 見ていたい。
もっと 話がしてみたい。

そんな感じです。

おかわりしたくなる人に共通する点は
自分なりの生き方や楽しみ方を持っている点です。

誰もが皆 自分なりの生き方を持っています。

でも なかなか その生き方を他人に対して 堂々とみせるのは
難しいのかもしれない。

人から批判されるのでは・・・。
あまり主張しすぎるのは・・・などなど

他人を気にせずに 自分のもので さしで この世界を見る能力。

これは、創造力の次に必要な大きな能力です。

おかわりしたくなる
それは あなたに会いたくなるということ。

おかわりしたくなる そんな人になってみたい。 (げんき)

【10】 神様に スタンプをみせてあげよう。

人生の中では、立ち直れないほどの痛みや言葉にならないくらいの喜びなど、本当にたくさんの出来事や経験があります。

それは、こころの中に まさに「刻印」される感じです。

こころに刻印されたもの、焼き付けられたもの これは スタンプなのです。

人生は、自由に道を選べる「スタンプラリー」のようなものです。

神様にあったら スタンプをみせてあげましょう。

スタンプの数や場所、色や形は様々で、別にいいも、悪いもありません。もちろん、数も全く関係ないのです。

この世界では、報われない努力は、努力と認めませんがこのスタンプラリーでは、報われない努力があってもいいのです。関係なく スタンプは 押されています。

堂々と胸をはって スタンプラリー表をみせてあげましょう。

僕は、いつか神様に会った時に 突き出して見せるつもりです。

多分、こんな会話があるのかもしれない。

「神様、全て このゲームクリアしましたよ。楽しかったです」

「ほーっ かなり、スタンプも 集まったようじゃな。

楽しかったなら、結構！ 結構！！（笑）」

「まあ、苦戦しましたけどね（笑）」

「よろしい。また世界に戻る気があるのなら戻してやろうかのう。

どうじゃ、今度は どんな人間で、どんな人生がよろしいか？

好きなものを選ぶがいい。なんにでもしてやろう」

「そうですか。では、次は 太陽になります。」

(げんき)

【11】 『神様への願い事の渡し方』

「お礼参り」という言葉があります。

名前のとおり「お礼」を言うために参ることです。

初詣は、『お礼参り』の行事です。

去年は、ありがとうございました。

これが 初詣です。

先に 今年のお願いを言うのではなく お礼から言ってみましょう。

神様は、新年になったと同時に 神殿から 少しだけ席をはずします。

その間に 初詣の方からの「願い事」が『神殿』にたまっていくのです。

そして正月があけた頃に

神様は『神殿』に戻ってきて みなさんの『願い事』を受け取りに来るのです。

その時には 膨大な『願い事』がたまっています。

それを 1年かけて 神様は かなえていくのです。

ただ、神様は 律儀な方です。

神殿に向けて「お礼の言葉」を言うと 実は 神様は 神殿に戻ってきます。

「お礼」にちゃんと応えるためにです。

その時に「お願いごと」を渡してしまいましょう。

神様は、「いえいえ どういたしまして」といいながら

ついでに あなたの「願い事」を持っていきます。

願い事を叶える順番があるか どうかは わかりませんが

早めに渡すことは できるのかも知れません。

なるべく 早めにお渡ししておきましょう。

願いは やはり少しでも早く叶ったほうがいいもんね（笑） （げんき）

【12】お弁当に「祈り」を込めると かならず「ご利益」がある

毎朝、旦那さまや子どもたちの「お弁当」を作るお母さん。
朝、早くから作るのは とても大変ですね。

この「お弁当」こそ この世界で最高の食事なのです。

お弁当のおかずや中味は どんなものでもかまいません。

おにぎりでも サンドイッチでも なんでも です。

「お弁当」には 2つの意味が含まれています。

ひとつは 「今日も一日 がんばってね」という相手への想いです。

もうひとつの大切な意味。

それは 、そのお弁当を食べる場所にある「気」、そう「土地の神様」に対しての「お供え」のようなものなのです。

食べ物は その場所にあると そこにある独特のエネルギーも吸収します。

山や川で食べる弁当は 美味しいですよ。
なぜなら それは、そこにある「気」を吸収するからです。

会社でも 園や学校でも そうです。
そこにある「神様」も 実は そのお弁当を食べて そこにお礼としての「気」を注ぎ込んでいるからです。

お弁当には「祈り」を込めてあげましょう。

「いつも ●●を守ってくださって ありがとうございます」と。

そうすることで その「お弁当」は ご利益を発揮します。

お弁当は 相手が食べるだけでなく 神様に対しても 愛情をこめて作ってみましょう。

このご利益は 他でもない お弁当を作った あなたのためにも働きます。
「食べること」は 「生きること」です。

「お弁当」こそ 本当は 「たまて箱」なのです。（げんき）

【13】 『あなたなら きっとできる』 これが願いを叶える「魔法の杖」なのです。

ポジティブに考えることは 大切です。

「私には きっと できる。」

「大丈夫 私には たくさん いいことが起きる」

そう思っていると必ず 内側から 力が湧いてきて あなたを そのように 導いてくれるでしょう。

『わたしには できる』

これは 魔法の言葉です。

でも もっと より大きな力を発揮する 「ことば」 が あります。

それは あなたが夢をかなえるために 必ず使わなければ ならない言葉 なのです。

それは

『あの人なら できる 』 という言葉です。

誰か夢に向かって進んでいる人を 周りの中から見つけましょう。

そして

『あの人なら できる 』 そう願ってみることです。

その人は きっと思っているはずです。

「私には きっと できる」って・・・

その思いのうえに あなたの思いをのっけてあげるのです。

「あなたなら きっと できる」って

他の人の夢の実現を願えば願うほど あなたには返ってきます。

「わたしには きっと できる」

「あなたなら きっと できる」

その願いのパワーは より大きくなります。

それが あなたの願いを叶える最大の秘訣なのです。

これが『願いをかなえる魔法の杖』なのです。（げんき）

【14】『運の貯金通帳』は まさに『幸せの貯金通帳』なのです。

神様は この世界に人を送りこむときに
どの人にも 必ず 持たせているものが あります。

それは『運の貯金通帳』 です。

この『貯金通帳』こそ 神様の「運」の配分の記録簿なのです。

通常の貯金通帳と同じように
振込みもあれば 天引きされることも もちろん あります。

振込みのことを 人は 「幸運」と呼び
天引きされることを 「不運」と どうやら呼んでいるようです。

では 振込まれるためには どうしたらよいか？
天引きをさけるためには どうしたらよいか？

どうやら この『通帳』
単に 良いことをしたから 増える
悪いことをしたから 減る
そんな仕組みではないようなのです。

実は この『通帳』
「ありがとう」を貯める通帳なのです。

「ありがとう」を伝えることで「ありがとう」が増え
「その気持ち」を忘れることで どうやら 減るように作られているのです。

『運の貯金通帳』
実は「ありがとうの通帳」なのです。

この「ありがとうの通帳」
実は 大きな役割をもっているのです。

それは 貯まった『運』は 自分のために使うのではない ということです。

あなたが貯めた『運』は 周りの誰かのお役に立つのです。
あなたが 使うのではないのです。

でも 安心してください。
あなたが 貯めた『運』と同じだけの『運』を 誰かが あなたに与えてくれます。

あなたは 他の人たちに「幸運」を分けて
そして 誰かが また あなたに「幸運」を分けてくれる。

『運の貯金通帳』は まさに『幸せの貯金通帳』なのです。（げんき）

【15】 人生は いつも あなたの味方です。

人は 優しいもの です

人生は いつも あなたにとって 優しいもの です

悲観することもあります
前向きになれないこともあります
納得いかないこともあります
怒りたくなることもあります
うまくいかないことだって

でも 人は 優しいもの です

人生は いつも あなたの味方です

ただ 教えてくれること
それは あきらめないこと です

病気であっても
元気であっても
苦しい環境であっても

決してあきらめないこと

なぜなら 人生は いつも あなたの味方だからです

それを証明することは できません

でも あなたも僕も知っています

だからこそ 生まれてきたのだから (げんき)

【16】 『幸せ』は この世界に登場した時点で すでに手に入っているのです。

『幸せ』の意味を こどもたちは 知っています。

大人になると 『幸せ』を探しはじめます。

でも、こどもたちは 『幸せ』の意味を すでに 知っているのです。

「不運」と「幸運」

これは相反するものです。

でも 『幸せ』とは、なにも関係は ありません。

「不運」は 『幸せ』の 反対のもの。

「幸運」と『幸せ』は 同じもの。

そう見えてしましますが

それは あくまでも そう見えるだけです。

実は 『幸せ』の中には 「幸運」だけでなく 「不運」も含まれているのです。

こどもは、走ってこけて 泣くこともあります。

こどもは ジャングルジムから お友達に押されえて 落ちてしまうこともあります。

捕まえようとした ザリガニに はさまれて痛い思いもします。

これは 『幸せ』の中にある「不運」です。

でも こどもたちは すぐに もとにもどることが できます。

なぜなら 「今」を優先することができるからです。

たとえ「不運」に出くわしたとしても

それより何より「楽しい今」を優先することができるからなのです。

『幸せ』とは 「今」なのです。

『幸せ』とは 「今」 目の前にある世界のことです。

実は 『幸せ』は この世界に登場した時点で すでに手に入っているのです。

なにも探す必要などないのです。 (げんき)

【17】好きになった数だけ 幸せは やってくる。

生まれて今までに どれだけ「好き」と感じる事ができたか。

とても重要なことです。

好きになった数だけ 実は 幸せは やってくるからです。

モノでも 生き物でも そして人でも 出来事でも 自然でも
なんでも かまいません。

「好き」という感覚を持っただけで

実は 心の中「見えない貯金箱」には 「幸せ」が貯まっているのです。

子どもたちには 子どもの頃から いっぱい「好きになる」ことを教えてあげたいですね。

僕が 子どもたちに 一番 教えてあげたいことを選ぶとすれば

この「好きになること」です。

いつも いつでも 好きになるものを見つけ出し そして

それを「好きになる」こと。

実は 幸せの貯金箱を いっぱいにする 一番の方法だからです。

貯金箱は 開けなければ 中から 出てくることはありませんが

幸せの貯金箱は いつか 勝手に 自分が想像する以上のものを
ぽーんと 出してくれるものなのです。

「好きになること」

「幸せになること」

実は同じものなのです。（げんき）

【18】『夢の実現』とは 縁日の「ひもくじ」のようなものなのです。

9月に入ると そろそろ秋のお祭りも各地ではじまります。

お祭りといえば 縁日です。

縁日に行くと たくさんのひもの中から選んで引くと賞品が浮き上がるひもくじが、あります。

『夢』

まさに それは ひもくじみたいなものなのです。

ひもくじで「当たり」を引くためには できるだけ 多くのひもを 引いてみることです。

ひもを引けば引くほど当たりに近づいていきます。

当たりのひもは、必ず隠れています。

「当たり」に出会うまでには
様々なものを つりあげなければなりません。

特賞のDS をゲットするまでには

ビニールのクマのぬいぐるみ
光るカチューシャ
音の出るキーホルダー
あなたの望みとはちがうものを 大量に引かなければならないのです。

「あなたの夢の実現」までの道のりでは

よけいなものや欲しくないもの
それを ひっぱりあげることが 必ず必要なのです。

あなたのひもくじの ひもの本数は、残りわずかとなってきました。

さあ 今日も 元気よく 1本 引いておきましょう！ (げんき)

【19】「大逆転」には まったく見たこともなく 会ったこともない人の力が 加わるものです。

「大逆転」

人生の中で 時々 訪れるものです。

1対0で負けていた9回の裏の「逆転」・・・ではなく
8対0で負けていた9回の裏 2アウトからの「大逆転」！！
風のように さーっと 8対9になってしまう・・・
そんな「大逆転」です。

最後まであきらめないこと
信じること
落ち着くこと
気持ちを高めること
イメージすること
チーム一丸となって 気持ちをひとつにすること

いろんな要因があります。

この力は 「逆転」するときには とても重要な要素です。

でも それだけでは「大逆転」は難しいものです。

誰が見ても どう転がっても 絶対に勝ち目がない・・・
どんなに気持ちを盛り上げてても ころこのどこかで「負けてしまうかもしれない・・・」

そんな想いが 少しでもあると それは難しいのです。

でも 「大逆転」というものは 時に起こるものです。

メカニズムや法則は わかりません。
それに 同じ状況になったとしても また逆転できるとは 思えません。

でも 時に起こるものなのです。
それは まさに「誰かがちからを貸してくれている」のです。

それは きっと
あなたが 見たことも あったこともない人
おそらく その人のちから なのです。

大逆転のときに 登場してくれる人物
それは あなたの内側にある 強いちからが、ひっばってくる人物なのです。 (げんき)

【20】一瞬しか現れない登場人物」を大切にしよう。

「一瞬しか現れない登場人物」

人が生きていく中で ほんの一瞬の出会いというものがあります。

もう二度と会うことのない「出会い」です。

旅行中にバス停で 出会ったおばあちゃん
研修期間中に隣の席に座っていた 女の子
コンサートの隣の席に座っていた 見ず知らずの人
パーティの席で同席した笑顔のビジネスマン

きっと もう会うことはありません。

生きていく中で 常に共にいる人たちもいれば
こうして 一瞬だけ 登場してくれる そんな人たちもいます。

この人たちこそ 実は「メッセンジャー」なのです。

メッセージを伝えるためだけに あなたの前に現れた人なのです。

常日頃 一緒にいる人との会話は 人はしっかりと覚えています
一瞬の出会いの人との会話は 忘れてしまいます。

それは ごくごく普通の話だったからかも しれません。

でも その出会いは 必要だったからこそ 出会いなのです。

僕は この出会いを「ミラー」と呼んでいます。
僕自身を映し出す そんな「出会い」です。
今の自分を 目の前の人 が 表現してくれていることもあるし
なにかを教えてくれることも たくさんあるからです。

もう 2度と会うことがない人も 大切にしましょう

そんな気持ちでいると
どれだけ多くの人 が 自分を支えてくれているのかが きっとわかるはずです。 (げんき)

【21】 僕たちは みんな「見えないへその緒」でつながっているのです。

『みんな つながっています。』

場所も環境も背景も違います。
男か女か 年も違います。

でも みんな つながっているのです。

あと100年もすれば
僕たちは みんなひとつのものになり 後世に残ります。

それは「年表」です。

100年後のこどもたちの社会の教科書には
「昭和時代」「平成時代」という名の帯があるだけです。

大きな仕事をされた方や大きな出来事は年表の下に
年月日と 出来事が記載されますが
あとは、すべて何色かわかりませんが《時代》の書いた帯に
なってしまいます。

本当は たくさんの人生があるのですが
一本の《年表》という帯になるだけです。

大切なことは
みんな それぞれが生きているから この年表はできるのです。
だれ一人 かけてはいけないのです。

僕は、実は あなたがいるから生きているのかもしれませんが。
あなたのこどもたちが生きているからかも。
でも理由は、本当は いらないのです。

ただ、みんながつながっていることを理解することが大切です。

よその子が病気になったり 嬉しいことがあったり
誰かが悩んでいたたり 苦しい思いをしていたり
つながっていれば わかります。
僕は、あなたの旦那様でも、恋人でもこどもでもないかも
しれませんが、確実につながっています。

それは、人と人とをつなぐ 見えない「へその緒」がちゃんとあるのです。

僕らの正体は ただの「愛」だからです。
それ以上でも それ以下でも ありません。

実は、お互いの「へその緒」から栄養を補給しあっているのです。

また僕のへその緒に栄養を流してくださいね！！（げんき）

【22】 「分かちあうことの大切さ」を教えるために どうやら神様が創ったようです。

分かち合うことの大切さ

こどもの頃 お菓子を妹と半分こした思い出が 時々浮かびます。

『はんぶんこ』

僕はこの響きが 大好きです。

わかち合うことの大切さは、こどもの頃に培うものなのです。

『はんぶんこ』してもらったあとには
かならず「ありがとう」があります。

『はんぶんこ』と「ありがとう」は セットなのです。

神様は ちゃんと この世界を 計算して作っているようです。

みんなで分け合えるものは かならず 「分けられる」ように作っています。

食べ物は すべてそうです。
情報や知恵だってそうです。コピーしてわけることができます。
お金だって そうです。小銭にして 分けることができます。

それは すべて みんなで 分けられるように作られたものなのです。

でも どうしても 分けられないものがあります。

それは あなた と そして この星 です。

この2つは わけてしまった時点で 存在することができなくなるからです。

神様は 考えました。
分けられない存在なら せめて 分けられるものを 持たせておこう

それが 「愛」 なのです。(げんき)

【23】もっているものは 惜しみなく使おう

自分の持っているものは 惜しみなく使おう

全部使ってしまうわけでは ありません。
形あるものだけとは 限らないからです。

自分の能力や愛も そのひとつです。

能力も愛も分かち合うことでしか 本当の力を発揮できません。

時には もっているものを惜しみなく使うことも大切です。

使うという行為は エネルギーの流れです。

出た分は 必ず戻ってきます。

お金は、使えば必ず その分 戻ってきます。

能力や愛情も 同じです。

大切なのは「惜しみなく」使うことです。

惜しんだり、むなしくなる使い方は しないことです。

喜んで使うこと。

これこそが 豊かさの流れであると 必ず確信できるはずです。

僕も惜しみなく 愛を送りますね！ (げんき)

【24】 人生の一番最後に出会う人 それは どうやら「自分自身」のようです。

自分は いつでも 見えています。

誰も見ていなくとも 自分は いつも見えています。

誰にも 本当のことを言わなくても 自分は いつでも知っています。

私だと思っている自分とは 違う もう一人の自分は いつもそばにいます。

決して 姿を見せません。

決して なにも 言ってくれません。

でも いつも 自分（あなた）を見えています。

そのもう一人の自分を 味方につける方法は

たったひとつだけ あります。

それは もう一人の自分に すべてをゆだねてみることです。

決して 決断しては いけません。

自分にすべてを ゆだねてみるのです。

あなたに まかせます。

そう伝えて すべての結果を 自分にゆだねてみることです。

もうひとりの自分は きっと教えてくれます。

ことばで伝えたり 現れたり することは ありませんが
必ず 教えてくれます。

実は その答えを あなた自身も知っているのです。

知っているけど 確認したくなる。

これが 本当の自分との不思議な関係なのです。（げんき）

【25】人は「愛されすぎる」と 「愛」そのものになってしまうのです

愛されていると感じることが大切

「自分は、愛されている」

そう感じる事ができる「能力」

実は 人にとって 一番重要な「能力」です。

大人であれ こどもであれ 男であれ 女であれ

この「能力」を持てるか どうか 「幸せ」を決めてしまうからです。

すべての人は 必ず 誰かに愛されています。

愛されていない人など この世界には 存在しえないからです。

この世界に存在していること自体が「愛されている」証拠だからです。

僕たちは、 食べ物を食べているから 生きているわけではなく
ただ、心臓が動いていたり 身体の臓器が動いているから
生きているわけでは ありません。

「愛されている」から 命があり 生きているのです。

「じゃあ、亡くなってしまった人は 愛されていないの？」
いえいえ 愛されているを超えて 「愛」になったんです。

僕は こどもたちに そう教えています。

あなたも 僕も そして誰もが 愛されています。
それを感じることに。

これが いちばん 大切な ぼくらのちからなんです！（げんき）

【26】人は 毎日 「今日一日分のエネルギー」しか与えられていないのです。

庭の花々も 外で鳴く鳥たちも この地球も 太陽でさえも
昨日より今日 今日より明日 毎日 確実に成長しています。
ほとんど そこには 例外は ありません。

「いや、私は、毎日 歳をとっていくばかりじゃよ」とお年寄りの方は感じたとしても
毎日は すべて 成長のひとつの面です。

「朝」

「朝」は 与えられた時間の中で 唯一
いつもより「よくなれそうな自分」を発見できる 時間なのです。

「朝」は 「可能性」の象徴です。
できるだけ 朝の自分を 大切にしてみましょう。

こどもたちは、朝の持つ「可能性」というエネルギーをうまく使うことができます。
そして そのエネルギーを 今日一日全力で使い切るからこそ 成長は、とても大きなものとなります。

今日の「朝」のエネルギーは 「今日」使うためのエネルギーなのです。
明日まで 持ち越すことは できません。

なかなか気づくことは難しいのですが
実は 人は 毎日 今日一日分のエネルギーしか与えられていないのです。

明日になれば 「明日」使うためのエネルギーが送られてきます。
持っている 自分の力を 今日一日出し切ってみること。

そのために きっと 「朝」のエネルギーは あるのです。

(げんき)

【27】 みんな 誰かの「サポーター」なのです。

「忘れてはいけないこと」があります。

それは あなたが 今 いる理由です。
あなたが この世界に降り立った 理由です。

それは「幸せを感じるため」です。

この世界に来た理由を忘れてはいけません。

大丈夫。安心してください。

あなたは 幸せになるために そして それを感じるという
たったひとつの目的のために やってきたのです。

この世界に来る前に みんな 夢を描いています。

でも誰一人として
「今度生まれたら 不幸を経験するぞ」
「苦しい思いをいっぱい体験するぞ」
とは 考えていないのです。

みんな 幸せになるために やってきたのです。

そして もうひとつ
忘れてはならない大切なことがあります。

それは
人は みんな 誰かのサポートをするためにやってきた ということです。

人は 誰かの『幸せのサポーター』なのです。

短い期間で この世界を離れてしまった人たち
その人たちは みんな 周りの幸せをサポートして 戻ったのです。

人生は 長くても短くても 『誰かの幸せのサポートの時間』なのです。

誰かが あなたの『幸せ』をサポートしています。

そして あなたも 誰かの『幸せのサポーター』なのです。（げんき）

【28】 「運命の人」に会う秘訣 それは 「赤い糸をはずしてみる」なのです。

『運命の人』
そして
『運命の赤い糸』

考えるだけでも なんだか ドキドキしてしまいます。

『運命の人』
もちろん 片方だけにとって であれば、それは 『運命の人』では ありません。

自分にとっても『運命の人』 そして 相手にとっても『運命の人』

双方にとって なんらかの意味を持つ 遠い昔からのつながり

それが 『運命の人』です。

でも その「赤い糸」のつながりを、ほとんど 二人とも気づくことは ありません。

「必ず 見つけてみせるわ」

そう言って その「赤い糸」を どんなに たぐり寄せたとしても

ひっばっても ひっばっても 実は やってこないのです。

「運命の赤い糸」は ひっばっても駄目なのです。

つながりを見つける方法
それは 「はずすこと」なのです。

「しばらくは、いいわ」
そう言って 他のことに 夢中になってみるのです。

そうすると あなたの指から外れた 「赤い糸」を 向こうの方から 結びにやってくるのです。

もちろん、相手も 自分が結びに行っているなど 思ってもいません。

自然に もう一度 つながりを戻そうとします。

その相手こそ、 まさに『運命の人』なのです。

『運命の人』と 生きている間に 一度も会えない・・・

そんなことは ありません。

『運命の人』であれば 必ず会うことはできるのです。 (げんき)

【29】鍋を食べるときの会話で その人と一緒に暮らせるかどうか わかってしまうのです

これからの季節 誰かと一緒に 鍋を食べる機会も増えてきます。

鍋を食べるときには
にこにこ しながら 楽しく 食べるようにしましょう。

決して ぐちをこぼしながら食べたり
不平や不満を言いながら 食べるのは やめましょう。

『一緒に鍋を食べて 楽しい人』
実は その人とは 一緒に暮らせる可能性は 格段に高いのです。

鍋と一緒に食べる
その行為 自体 そもそも 相手を近く感じます。
それは 同じものを 一緒に つつくから かもしれせん。
それに 1つのテーブルの下に 一緒に 足を入れています。
それも 身近に感じる ところです。

コタツで食べると より 身近になります。
それは 「コタツ布団」という 1つの 布団に入っているからです。

実は 一緒にコタツで鍋を食べることは
一緒にの布団の中に入ることと ほぼ 同じなのです。

不平や不満をいいながら 鍋を食べると
知らず知らずのうちに、誰かと一緒に寝るときにも 不平や不満が多くなってしまいます。

鍋を食べるときには

明るく 楽しく 優しく 幸せな 気分が 大事なのです。 (げんき)

【30】あなたの「ことば」は きっと誰かの「宝物」なのです。

この世界で 一番 大切な宝物

それは 「ことば」 です。

愛する人にささやく 「ことば」

親がこどもに 語る 「ことば」

先輩が 後輩へ贈る 「ことば」

活字というメッセージで 相手へ贈る「ことば」

詩や曲にのせて 贈る 「ことば」

もし 僕らが 天にもどるとき
持っていけるものが あるとすれば

それは 『思い出』と 『ことば』 です。

『思い出』は 映像として 感情や感動を記憶しています。

そして 『ことば』 は 地上に残してきた 愛する人たちとつながる
唯一の 糸のようなもの

できるかぎり 多く こどもたちに語りかけましょう。

ひとことでも多く 愛する人に 「ことば」を かけてあげましょう。

天に帰った人たちへ もちろん 『思い』は 届きます。

でも 『ことば』は 天へ届いたとしても あなたは それに気づくことはありません。

だから きっと 後悔するはず

もっと 話しておきたかったって。

たくさん たくさん 話しておきましょう。

たくさん 思いは 伝えておきましょう。

あなたの「ことば」は きっと 「誰かの宝物」 なのです。

天の世界では まるで 好きな音楽を聴くかのように

好きな人の「ことば」を 思い出すものです。 (げんき)

【31】 「あなたの夢の実現」のために 最初にやらなければならないことがあります

。

さあ 今日も 元気に 誰かの夢を応援しましょう。

「僕にできることない？」

「私が手伝えることない？」

そうやって どんどん 誰かの夢実現のお手伝いをしましょう。

自分の夢が叶ったら 手伝う時間があるんだけど・・・

やっぱり まずは 自分からでしょ・・・

そう感じたら 自分の夢の大きさを点検してみるのです。

あなたの夢は すぐに達成できそうな夢ですか？

あなたの夢は 達成には時間がかかりそうですか？

あなたの夢の実現にとって 欠かせないものがあります。

それは 『他の誰かの夢の実現』なのです。

『他の誰かの夢の実現』があって 「あなたの夢の実現」がある。

夢の実現には 順番が存在するのです。

あなたの夢が大きければ大きいほど

他の誰かの夢実現の数が 必要となってくるのです。

多くの人に喜びと感謝を与えれば それだけ あなたの大きな夢は達成されます。

夢をかなえるための原動力 それは 『他の人の喜び』だからです。

『他の人の喜び』が大きくなればなるほど

あなたの「喜び」は とても大きなものとなるはずです。

あなたの夢の実現のために

まずは、自分ではなく 誰かの夢を応援してあげましょう。

「夢」を叶える順番は まさに you me

まずは あなた そして わたし なのです。（げんき）

【32】 「人生の宝くじ」は すべて「当たりくじ」なのです。

「人生の宝くじ」は すべて 「当たりくじ」なのです。

街を歩いて 宝くじ売り場の前を通ると
「年末ジャンボ宝くじ」を購入する沢山のお客さんに会います。

「宝くじ」

1年のうち 数回あるチャンスに 沢山の人たちが、「夢」を買いにやってくるようです。

宝くじ それは ある特定の期間だけのものではありません。

実は 私たちは ほぼ毎日 「宝くじ」を引いているのです。

それは 「人生の宝くじ」です。

「人生の宝くじ」の賞金
それは とんでもない金額が隠れているのです。

「人生の宝くじ」にも もちろん 金額があります。

ただし、「券」という形を取っていません。
「宝くじ券」の代わりとなるもの それは「経験」という「けん」なのです。

この「経験」という「宝くじ」

5000円の「経験」もあれば、1億円以上の「経験」も ざらにあるようで
また、不思議なことに 同じ「経験」であっても 人によって その「金額」は大きく異なるようなのです。

「経験」という「宝くじ」の価値を決めること
その配当金の額を決めるのは 実は 他でもない あなた自身なのです。

「この経験は 1000万円以上の価値がある」

「人生の宝くじ」は
あなたが付けた「値札」にあわせて 「配当」を準備しているようです。 (げんき)

【33】あなたは 今日から『わらしべ長者』になります。

昔 あるところに 気立てのよい若者がおりました。

一生懸命 働いているのですが 一向に 暮らしが楽になりません。

そこで 観音様にお願ひしました。

「どうか、観音様 お助けください」

観音様は、いいました。

「一番 はじめに手にしたものを 大切にしなさい」

これが わらしべ長者のスタートラインです。

この わらしべは みかんになり 反物になり 馬になり
最後には 田んぼと屋敷に変わっていきます。

さあ、あなたのこどもたちの わらしべ長者のお話です。

こどもたちは 交換することが 大好きです。

ここで 大切なこと。

それは

「相手に必要なものを あげること」

「相手のためになるものを あげること」

このことを教えてあげることです。

こどもの頃から

相手が必要なものを あげる習慣が 身についたとしたら

あなたのこどもたちは

きっと この「わらしべ長者」のように なっていくはずです。

観音様は 言いました。

「一番 はじめに手にしたものを 大切にしなさい」

今 あるもの

今のありのままの自分

今 できること

それが あなたが 一番大切にしなければならないものなのです。

今日から 「あなたのわらしべ長者」のお話が始まるのだから。 (げんき)

【34】紙を大切にすることを覚えると お金の神様がやってくる。

紙を大切にすることを覚えると お金の神様がやってくる。

お金は、ただの紙です。
色んな絵柄や 数字の入った綺麗なデザインされた紙です。

お金よりも 綺麗なデザインされた紙は いくらでもあります。

包装紙やラッピングペーパー
それに 絵手紙やデザイナーの描いたイラスト
綺麗な景色の映し出された 写真
本気でさがして見ると あるは、あるは・・・(笑)

実は、紙のひとつひとつには それぞれに価値があります。

1枚 1500円する紙があれば それは 1000円札より価値があるということです。

新聞の折込チラシにも 1枚 5円から25円の価値があります。

その紙の持つ「エネルギー」のことを 「お金」といいます。
エネルギーを持っていない「紙」は、「お金」では ありません。

しかし、この世界にある 紙には、すべてエネルギーが含まれているのです。
つまり 形や柄は違いますが 紙には すべてエネルギーがあります。

このエネルギーこそ 実は 「金運」なのです。

子どもたちに教えてあげる、いや 身につけてもらう方法
それは、すべての「紙」を大切にすることです。

毎日 絵を書く チラシの裏紙から お菓子の空き箱 絵本 ノート
とにかく すべてです。

子どもの頃から 紙の持つエネルギーを たくさん扱わせてあげること。

そして それを大切にすること。

これだけで お金の神様が その子たちに まとわれます。

まとわれるんです。

お金の神様。 大人がいう「金運」というものは
まるで服を着せてもらうかのように ついてくるものです。
子どもにわかりやすく表現すれば キャラメルを包んでくれる包み紙のようなもの。

あらゆる紙を大切に する。
これは、 お金の神様が 寄り付いてくる 最高の方法なのです。 (げんき)

【35】『小さなことに 大きな喜びを見出すことができる人』 これほど素敵な人は
いません。

小さなことに 大きな喜びを見出す能力

こどものような ころの原点は
この「小さなことに 大きな喜びを見出す能力」です。

どんぐりを拾った
テントウムシを見つけた
バスの中から友達を見つけた
アニメのキャラクターが 壁に書いてあるのを見つけた
街で 熊のぬいぐるみが 手を振ってくれた
本当に 様々な 出来事。

大人にとっては たいしたことではないかもしれませんが

こどもにとっては
宝を見つけた 探検家のような 喜びです。

生活の中を探していけば

必ず この小さなこと。
小さな喜びは 見つけられます。

この能力こそが 幸せに至るための「小さな地図」なのかもしれません。

あなたの持つ この能力に 僕は いつも感動しています。 (げんき)

【36】 「やっぱり会えたね」って思える人 見つかりましたか??

「そろそろ 行く??」

「うん! それじゃ お先に行っとくね。ちゃんと見つけてよね?」

「うん。じゃあ 下で また 会おうね!」

そうやって あなたは この世界に下りてきました。

人の『人生』には ひとつだけ 『ルール』が存在します。

それは「誰と生きていくのか」を決めるという『ルール』です。

この人と生涯を共にしたい

そうして 誰かと結婚し 家族を作ります。

この人たちの役に立つ仕事がしたい

そうして 自分が お役に立ちたい人たちを見つけて仕事をします。

「誰と生きていくのか」を決めること

それが あなたの「人生」そのものなのです。

あなたは この世界に下りてくる前に

実は たくさんの人と約束をしています。

「下で会おうね。お互いに見つけあおうね」って。

それは 「運命の人」であり

「ミッションとしての仕事の相手」なのかもしれません。

この世界には 沢山の人が 生きています。

その中で 「この人と一緒に生きていこう」

「この人たちと一緒に生きていこう」

そんな人を見つけることができたなら それほど幸せなことは ありません。

「やっぱり 会えたね」

頭では わからなくても ころは ちゃんと わかっているものです。

(げんき)

【37】 「虫の知らせ」は 「未来の自分からのお知らせ」なのです。

最近 よく 直感的に 「これ やったほうがいいぞ」とか
「そっち いったら だめ」って 感じるものが 増えてきました。
自分の直感には 絶対に 従うようにしています。

「虫の知らせ」ということば があります。

これは どちらかというと 「嫌なこと」を意味することが多いのですが
実は そうとも いいきれません。

「虫の知らせ」は 「自分からのお知らせ」なのです。

僕は ひとりで 静かな部屋にいる時など 昔のことを 思い出すことようにしています。

それも 特に 苦い思い出や辛かった時のことを 極力思い出すようにしています。

それも かなり リアルに です。
苦しんでいる自分や 一生懸命 がんばっている自分に対してアドバイスをするんですね。

「今は そのまま進んでいきなさい」
「それは やめたほうがいいよ」って・・・そんな感じで

もちろん 過去は 変わりません。

それでもいいのです。
常に送り続けてあげることが大切だからです。

今の僕は 過去の僕が そのあと どうなっていくのかを知っています。

だから 結果ではなく ベストなアドバイスが できるんですね。

実は これが 今の僕に 贈られてくる 『虫の知らせ』の正体です。

今 僕に直感的に 送られてくるメッセージは
未来の自分が 贈ってくれる 大切な アドバイス なのです。

常に 過去の自分に メッセージを 送り続けると
未来の自分は 確実に 現在の自分へ メッセージを送り続けます。

ときには 過去の自分へ 「良きアドバイス」を送ってあげましょう。

そうすると きっと
今度は 未来の自分が 素晴らしいアドバイスを 送ってくれます。(げんき)

【38】ことばを、魔法の呪文に変える方法

その人自身をもっとも 簡単に 表現してしまうもの

それは、「ことば」です。

毎日 どれだけの「ことば」を 話しているのでしょうか？
とても 数えられない数です。

学校の先生は、1日の生活の中で 話す「ことば」で 一番多いもの
それは、「教育」に関することばです。

政治家は 「政治」の話が 一番多いし、 野球選手は 一日の大半を「野球」の話で占めているものです。

実は ここに重要なヒントが隠れています。

この方たちは いつから こんな話を始めて そして一日の大半を 自分にあつた

話題の「ことば」で占めてきたのでしょうか？

教師になってからですか？
政治家になってからですか？
野球選手になってからですか？

正解は、
「そのものになる前から その話題のことばで 一日が占められてた」のです。

決して なってからではなく なる前から そのことばが1日を占めていたのです。

「ことば」が先で 「結果」は あと だったのです。

この「ことば」こそ 魔法の呪文なのです。
こどもたちの夢を かなえてあげるための「魔法」
それは、この「ことばの使い方」なのです。
これには、お金も もちろん かかりません。

その夢に関する「ことば」の量が 多ければ多いほど 潜在意識の中には 蓄積されていきます。

そして この「ことば」の魔法は ある時 目の前の 現実も変えてしまうほどの
魔法のランプに早変わりしていくのです。

こどもたちの ことばの チェックをしてみましょう。
ついでに あなたの ことばのチェックも 忘れずに・・・ (げんき)

【39】最高の福は 笑顔です。

「最高の福は 笑顔です」

子どもにとっての最高の「福」は 「親の笑顔」です。

親にとっての最高の「福」は、 「こどもの笑顔」です。

どんな おまじないや風水よりも

一番 効果があり そして幸せを 感じるものは やはり「笑顔」。

これが 一番。

誰もが わかっていることなんだけど

忘れてしまいがちなものです。 (げんき)

【40】 一番大切な人が笑ってくれたなら よし！としておこう。

日々の暮らしの中では いろんなことが待っています。

落ち込みそうな日もあるし 不安や自信のない日もあります。

そんなときは 一番 大切な人を にこやかにしてあげましょう。

いったん、自分の中にある いやーな雰囲気にもフタをしてしまうのです。

そして 大切な人のために 笑顔を送る。

そして 笑顔を受け取ることです。

恋人であれ 妻であれ こどもたちであれ 友人であれ

大切な人が 笑ってくれたらなら よし！としておきましょう。

それでいいのです。

気持ちがブルーな時だってあります。

自分では どうしていいか わからない・・・??

それであれば 大切な人のちからを借りることも大切です。

その子の笑顔。

その人の笑顔。

それで充分なのです。

きっと 見えない新しい何かを 注いでくれるはず。

大切な人の笑顔こそ 今のあなたにとって 一番必要なエネルギーだから。

明日は もっと あったかい。

昨日よりも 今日よりも もっと もっとね。(げんき)

【41】 「幸運な誰か」 ほとんどの人は みずからキャンセルしているのです。

世の中には 宝くじに当たった人もいます。
福引の1等 海外旅行に当たった人もいます。
賞をもらった人もいれば
ギリギリのところで いのちが助かった人もいます。

そういう人を『幸運な 誰か』と呼んでいます。

「誰か 当たったのよね。いいよね。」
「誰かが きっともらってるのよ。いいわね。」

そんな「誰か」です。

誰もが少し羨ましい「誰か」なのです。

でも ここで大切なことをお伝えします。

この「誰か」
ほとんどの人が みずから キャンセルしているのです。

では もう一人の「誰か」をご紹介します。
マンションのポストの周りには たくさんのポストイングのチラシが落ちています。
階段の隅には 飲みかけのジュース
駅のホームの喫煙コーナーでは もくもくと立ち上がる煙
町内の掃除当番を決める 会合では みんな黙っています。

「誰か」が やってくれるだろう
「誰か」が 片付けるだろう
みんな「誰か」に期待しています。

実は 宝くじが当たった「誰か」も ゴミを片付けてくれる「誰か」も
本当は 同じ「誰か」なのです。

あなたが こころの中で 思う「誰か」
羨ましい「誰か」も めんどくさいことをやってくれる「誰か」も同じ人なのです。

その人は いつも思っています。
「誰か」がやるだろうではなく
「誰か」のためにやろう です。

この「誰か」の積み重ねこそ

『幸運な誰か』なのです。 (げんき)

【42】 「力をあわせること」も大事だけど 本当に大切なのは「こころをあわせること」なのです。

「力をあわせてがんばろう！」

とても いい言葉です。

でも その力は たかが知れています。

最高にちからを発揮するのは 「こころ」をあわせたときなのです。

綱引きなどでも

体が大きく 筋肉質な 男たちを 相手に

ごくごく普通の女の子たちの集団に負けてしまうことも あります。

それは、 簡単な法則で 決まっているのです。

相手は、「力をあわせている」

こちらは 「こころをあわせている」

ただ、それだけの違いです。

力を合わせるということは 各自は 自分の力を出し切ることに集中します。

これは、当然のことです。

でも 人は、「自分の力」を過信し、それを発揮しようと

自分に 焦点をあわせていくものです。

各自が その自分の力に焦点を合わせたら どうなるでしょう？

その力が 作用すればいいのですが りきんで反作用を起こす場合の方が はるかに多いのです。

こころを合わせること。

それは、各自のエネルギーや力が 一つにまとまることです。

1のエネルギーが 10個。

10のエネルギーが 1個。

算数では、同じです。 $10 = 10$

しかし、現実には 10のちからの方が はるかに強いのです。

ビジネスでも家庭でもこころを合わせることに 集中すること。

これが 夢を近づける パワーポイントなのです。

(げんき)

【43】 『金太郎飴』 のような人になろう。

どこを切っても 「金太郎」

これが 「金太郎飴」 です。

金太郎飴は、本当にすごいものです。

どこを切っても 『金太郎』。

とても 魅力的 です。

あなたを切ったら 何が 出てきますか？

もちろん 本当に切るなどできませんが

たとえ どんな状況で あっても

たとえ どんな場所で あっても

どんな人にあつたとしても

いつも同じものが 現れる。

そんな「金太郎飴」のような人になりましょう。

僕も まだまだ修行中ですが

どこを切っても『愛』がでる。

どこを切っても『元気』がでる。

そんな人間になりたいと願ってます。

いつも どこでも 誰にでも

「金太郎」である あなた

これほど 素敵な 金太郎は いませんよね。 (げんき)

【44】人は みんな「思い出の貯金箱」なのです。

「ころ」そして 「ひと」

「元気さん こどもたちにわかりやすいように お話してあげてください。」

小学校3年生のこどもたちに 向けて お話してきました。

「ころ」は なんて できているのだろう？

「ころ」は 「思い出」できています。

じゃあ 「ひと」って なんだろう？

実は 人は 「思い出」のかたまり なのです。

幼稚園や保育園の頃の 楽しかったことって 覚えてる??

じゃあ 悲しかったことや悔しいなあって思ったこと 覚えてる??

うれしかったこと

楽しかったこと

悲しかったこと

みんな 「思い出」です。

「ころ」は 「思い出」で 出来ていて

「人」は その「思い出」のかたまり

「ひと」は みんな「思い出の貯金箱」 なんです。

だから これからも たくさん いろんな「思い出」を作って

自分の中の貯金箱に いっぱい貯めていってくださいね。

そうしたら いつか 大人になって それから おじいちゃん、おばあちゃんに

なったとき きっと 思うから

「こんなに たくさんの思い出が あったんだなあ」って

それが 「ひと」にとって 一番のたからもの なんですよ。(げんき)

【45】モチベーションの「へそくり」を準備しておこう。

やる気のない時のために
常日頃からモチベーションの「へそくり」を準備しておきましょう。

モチベーションの「へそくり」の仕方

それは いたって 簡単なのです。

それは 自分だけの「楽しみ」を準備しておくことです。

「あそこに行けば いつものあの子に会える」
「街に出たら 切り抜きしといた あの店に寄ろう」
「前 見つけた あの雑貨を買いにいこう」

そんな あなただけの「楽しみ」

それを しっかりと溜め込んでおくのです。

ここで 1つ 注意点があります。

それは 「誰にも内緒にしておく」ということです。

「へそくり」なのですから それは こっそり貯めておきましょう。

あなたが なんだか 知らないけど ワクワクしている

どこに寄ろうとしているのか
何をしに行くのか わからない

でも なんだか ウキウキしてる・・・

あなたを見た誰かは
きっと あなたに「興味」を持つはずです。

『あなたへの興味』

これこそが あなたに 廻ってくる あなたのモチベーションの「卵」になるのです。 (げんき)

【46】他人がやることに『できっこない』と言った瞬間に現れる神様がいます。

誰かがなにかをしようとする

その時に 決まってこういう人がいます。

「あいつには できっこない!!!」

「あんなやつに できるはずがない!!!」

「できっこない」と想うのは やめるようにしましょう。

人は すべて 同じなのですが

この世界に生まれてくる前に 必ず 今度はこうしたい・・・

そういう願いや思いを込めて生まれてきます。

神様は すべてその「いのち」に 可能性を込めて この世界へ送り出してくれるものです。

その人の持つ 可能性を否定すること。

これは 「神様の可能性」 を否定すること なのです。

人は 天の世界では すべての人の可能性を知っています。

天の世界では 「できないこと」など なにもないからです。

でも もうひとつ 天の住人が知っていること

それは 「できっこないの神様」の存在です。

「できっこない」という思いは あなたの祈りになってしまうのです。

もちろん できっこない状態を受け取ってしまうのは 他でもない あなた なのです。

時間のずれは 少しだけありますが

かならず できっこない状態が どんどん あなたにやってきます。

これが 「できっこないの神様」の存在です。

相手の可能性を否定すること

それは 自分の道まで ふさいでしまうのです。 (げんき)

【47】 「歳をとること」が 人類の「最高の貢献」なのです。

今日は お年寄りの方たちに 会いに行きました。

そこで ある おばあちゃんが 言いました。
「うちは 歳ば 取るばっかしで なんの 役にも立ちやあせん。」
「なーんも しきらんし なーんもでけん」

「とんでもない 僕は いっぱい元気をもらってるんですよ」

人の持つエネルギーというのは 天からもらうものでは ありません。
すべてのちからは この地球という星の中で頂くものなのです。

赤ちゃんは この世界に生まれた瞬間
まだまだ ちからは もっていません。

でも この星が持つ たくさんのエネルギーをもらいながら
どんどん成長し 大きくなっていくのです。

こどもたちは 大人になるまで
この世界から ちからを 受け取っているのです。

「歳を取るということ」

それは 今まで 受けてきた
そう 頂いたエネルギーを徐々に徐々に この星に返していくからです。
だから だんだん 力が なくなっていくのです。

この星に 頂いたエネルギーを 「置いていく」
そう だから 「老いていく」のです。

そうやって この世界は エネルギーをまわしているのです。

お年寄りが エネルギーを置いてくれるから
こどもたちが 元気になるのです。

歳を取ること

それは おおいに 人の役に立っているのです。

(げんき)

【48】 「手をたたく音」は 『幸せを呼ぶプログラミング』 なのかもしれません。

コンサートや講演など 終わった後には 大きな拍手があります。

観た人も観られた人も そこには 感謝と喜びと幸せな気分があります。

拍手というものは 人間のところに強烈に伝わるものです。

「幸せなら 手をたたこう
幸せなら 態度でしめそうよ。 ほら みんなで手をたたこう」
そんな歌がありますよね。

まさに その通りです。

赤ちゃんのときには
上手にできた時に 「上手 上手（笑）」といいながら 手をたたいているはず。

人は 成長の段階で
自然に 手をたたかれる音に対して 「幸せ」というキーワードをプログラムしているようです。

できるかぎり この「手をたたく音」そして「笑顔」

これを たくさん 与えてあげましょう。

この音こそ その子の能力を引き出すカギになるかもしれません。

こどもの頃に聞いた音は、大人になった時に
それを もう一度 聞くこととなります。

小さな頃に 聞いた父親の働く「音」が その子の将来の仕事の「音」となったり
小さな頃に 聞いた音楽が その子を音楽の世界へ導いたり
本当に 珍しいことでは ありません。

こどもたちには、 できるだけ 「拍手」の音を聞かせてあげましょう。

きっと その子は 将来 その音に 包まれるはずですよ。 （げんき）

【49】泣きたくなるとき　すでに　神様の手助けは　始まっているのです。

子どもたちが泣くのは　神様の近くにいるからです。

子どもたちは　よく泣きます。
本当に　小さなことでも・・・

あんまり泣きすぎると　大人は　大変かもしれませんが
少しだけ　捉え方を変えてみることも大切です。

「泣くこと」　それは　神様の近くにいる証拠なのです。

人が生まれてくるとき
最初に　おぎゃーという産声と共に泣き始めます。
神様から離れた瞬間です。

そして　人が　この世界から離れていくとき
周りの人たちの温かい　涙に包まれて　天へと向かっていきます。
神様のもとへ　送り出す　涙
そして　ありがとうの涙です。

「泣くということ」は　とても神聖な行為なのです。

そして　泣いているとき
それは　神様が　近くにいる瞬間です。

合格発表で見せる　涙も
オリンピックで金メダルをとったときの　涙
とても　神聖な場所にいる瞬間　　神様がそばにいる瞬間なのです。

悲しくて　泣くとき　悔しくて泣くとき
その時も　神様が近くにいる瞬間なのです。

子どもたちが　泣くのは　それは　まだ　神様に近い存在であるという証拠なのです。

歳をとると　涙もろくなるのも　それは　少しづつ　神様へと　近づいている証拠です。

思い切り　泣いてみることも　とても　大切なことです。

その時　間違いなく　あなたの後ろには　神様が　必ずいます。

「泣きたくなるほどつらいとき」

実は、もう神様の手助けは　はじまっているのです。　（げんき）

【50】あなたはすでに「魔法の振り子」を持っています。

魔法は 不思議な法則を持っています。

実は 魔法は 0から プラスを生み出すことが できません。

あっという間に 目の前に「幸運」を運んでこないのです。

え？ そう思われるでしょ?? (笑)
これが 魔法の誤解されている部分なのです。

魔法使いの杖というものは 見たことは ありませんが
その杖を 振った後の 出来事は 見たことがあります。

誰もが みんな 見えています。

魔法は、 確かに 幸運をもたらします。
これは 事実です。

その魔法の杖
それは マイナスから プラスへ エネルギーを流しているのです。

つまり 幸運（プラス）の前に 不運（マイナス）が来ること。

マイナスの出来事から プラスの出来事が起こること。

実は これが 「魔法」なのです。

決して 0からプラスへは、運べません。

魔法の杖
それは 「魔法の振り子」なのです。
エネルギーを まず マイナスまで振って それからプラスへ勢い付けてあげること。

これが 魔法の持つ不思議な法則なのです。

どうしても 最初にマイナスが来た瞬間に
慌てて じたばたしてしまいがちですが、それは せっかくのパワーを
振り子を 止めてしまうようなものです。

振り子が振られたら 「よー！！来たぞ！！」
そうやって マイナスのエネルギーを感じてあげることが大切です。

そうすることで 加速がついて
魔法の威力は ますますパワーアップしてくれるはずですよ。 (げんき)

読んでくれて ありがとう！

おわりに

最後まで読んで頂き ありがとうございます。
少しの間でも ほっとしてもらえたら 僕としてはこれ以上の喜びはありません。

神様は、いつも あなたを見守っています。
そして いつでも手を差し伸べてくれます。

また、いつかどこかで僕の「ことば」を見つけたら
思い出してくださいね。
それは、他でもない神様から「あなた」へのメッセージなんです。
では、またいつかどこかで

ありがとう

(げんき)